

「光と知恵」 <先週の講壇より>

「私は見た。光が闇にまさっているように、知恵は愚かさにまさっていることを。」
伝道の書 2:13 【新改訳 2017】

二人の女性がソロモン王の前にきて、「この赤ちゃんは私の子だ！」と主張します。王は刀をとり、赤ちゃんを真っ二つにするから仲良く半分こにして持って帰れと。一人の女性はそれを必死で止めますが、もう一人はそれはいいアイデアだと言う。さて、どちらのお母さんが本物か・・・これはソロモン王の名裁きです。ん？どこかで聞いたことのある話？そう思われた方は、きっと大岡越前のお話を思い出したことでしょう。町奉行大岡越前の場合は、二人の女性に赤ちゃんの引っ張り合いをさせ、手を離れたほうが本当のお母さんというストーリーです。大岡越前はおよそ300年前の江戸時代、ソロモン王は3000年近く前の人物です。もしかしたら大岡越前のこのお話しは、聖書からヒントを得たものなのかも知れません。

ソロモン王が求めたもの、それは知恵でした。本当の知恵、それは神様を知ることです。神様の光に照らされながら、本当の知恵を求め、それに生かされていきたいと願わされています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025年9月21日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ5:14

☆集会案内☆

日曜礼拝：09:30-10:30

聖書クラス：10:45-11:45

現在第四または第五週

第一と第三は祈り会／初心者クラス

